

毎日たままっていく新聞紙を処分する前にひと工夫。掃除の手間が省けたり節約になったりと、暮らしの中でちよつとお得に役立ちます。不要なものを買わずに済むのでエコにもつながりますよ。

炊事・掃除だけでなく、災害時にも使えるので、ある程度ストックしておくといいですね。

古新聞活用法 かしく使おう！

活用法

- フライパンなどの油汚れを拭き取る
- 牛乳パックに新聞紙を詰めて廃油処理
- 生ごみを新聞紙に包んで捨てる
- 野菜を新聞紙に包んでポリ袋に入れて保存
- 靴箱の下敷きにする
- 災害時に防寒具や断熱材に使う
- …など

①見開きの新聞紙を2枚

★ゴミ箱をつくらう★

- 重ねて、二つ折りにする。ページをめくる方を下向きにして上の両端から三角に折る
- 三角の下から2枚だけをめくり、三角の底に合わせて折り、もう一度巻くように折る
- 裏返して、両端を真ん中に合わせて折る
- 下から巻くように2回折り返す
- ④の状態から手を縦に入れて、底に三角をつくるように折り込んで、三角の部分をたたむ

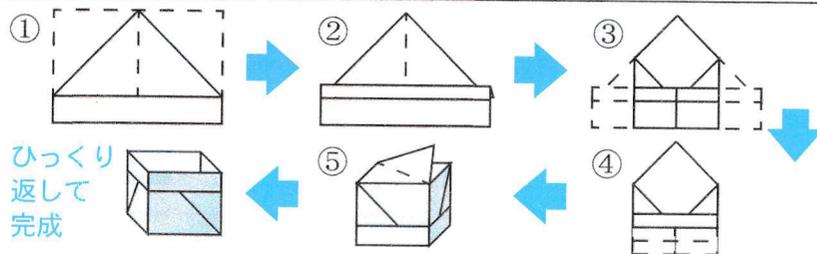
左？右？ どちらがえらい？

ひな人形の飾り方には東西で違いがあるのをご存知ですか？ 関東雛は向かって左に男雛、右に女雛。一方、京雛は逆になり向かって左に女雛、右に男雛です。なぜでしょうか。



これは、国際儀礼と日本の伝統礼法とで上位とされる並びが違うからなのです。国際儀礼は、無用な誤解や争いを避け外交を円滑に進めるための共通認識。国際儀礼では右（向かって左）が上位となります。つまり関東雛は国際儀礼の並びです。これは日本の皇室が明治時代に国際儀礼を取り入れたことで、現在の両陛下の並びが国際儀礼の並びだからです。5月にあるサミットの首脳の立ち位置や、8月のオリンピックの表彰台も国際儀礼の並びです。

一方で京雛は日本の伝統礼法の並びです。伝統礼法は中国から伝わった「皇帝は動くことがない北極星を背に南を向いて座るのが善い」というのが元になっています。南に向くと日が昇る東が左手になるので、左（向かって右）が上位とされるのです。



ひっくり返して完成

※ごみを捨てる際には自治体の区分に従ってください。